

## 韓国の協定校対象

# 「短期集中日本語・日本文化学習コース（夏季）」 を実施しました！

# 日本語教育センター通信

第8号



<上右: 京都にて風呂敷に友禅染体験。上中: 京都にて和菓子作り体験。上左: 関学能楽部で見学・体験。  
下: 終了パーティにて。受講者、日本語パートナー、プログラムコーディネーター 阿部美恵子先生と日本語教育センター職員で記念撮影>

このプログラムは、韓国・慶熙大学の大学生を対象としたプログラムで、日本語だけでなく、食文化やポップカルチャーを学びます。約3週間という短い期間ですが、日本語パートナーと一緒に食事や買い物に行ったりすることで、日本語で学んだ日本語が授業後すぐに使えるようになり、さらに、能楽部と茶道部の皆さんの協力で、日本の伝統文化も体験できました。参加した留学生からは、帰国してからも日本語の学習を続けたい、日本語パートナーと交流を続けたいという、うれしい声を聞くことができました。

## 日本語科目 初級クラス 担当: 日本語講師 西村由美先生

授業の初日、教室の空気は瞳を輝かせた学生たちの緊張と期待で満ちていました。そんな学生たちのクラスでの様子を一言でいえば「全力投球」です。クラスのメンバーは、平仮名をようやく覚えた人、高校で少し習った人など、日本語を学び始めたばかりの学生でしたが、それぞれに素晴らしい成長を見せてくれました。学習意欲の高さはもちろん、日本語パートナーと話したいという気持ち、できるだけ多くを経験しようという積極的な姿勢が相乗効果を生み、短期間での上達へつながったのだと思います。また、日本で体験したこと、したいことを懸命に話す様子から、クラス外での奮闘ぶりもかがやきました。最後のスピーチも、学んだことを十分に生かし、自分の気持ちが伝わる発表となりました。今回の日本滞在が、今後の学びへとつながることを願っています。



<上級クラス授業内で、日本語パートナーのサポートを受けて最終日の発表準備>



<初級クラス授業にて、日本語パートナーにインタビュー>

また開学に  
来てね



<中級クラス授業。日本語パートナーと一緒にグループ活動>



## 韓国語による「日本文化講義～J-POP～」

担当: 朝鮮語常勤講師 柳圭相先生

この授業は短期集中コースで日本語を学んでいる留学生たちに、言葉だけではなく、日本の文化にも興味を持ってもらうためのクラスです。私が日本語を習い始めた頃もJ-POPで学習意欲を掻き立てられ、またそれ自体が立派な教材でした。授業では、AKB48や嵐などの映像を用意し、直接見て感じてもらいました。特に、韓国からの留学生が対象だったこともあり、日本の最新音楽シーンの特徴やJ-POPをめぐる音楽産業について、K-POPとの比較を試みたのはとても有意義だったと思います。中には初めてJ-POPに触れる学生もいましたが、みんな目をキラキラさせながら熱心に聞き入り、音楽の背景にある日本の文化についても大変興味を示していました。外国の文化や言語の学習に、音楽は素晴らしい先生になってくれるんですね。



# 短期集中日本語・日本文化学習コース（夏季）受講者と日本語パートナーの声



〈授業に参加して、留学生(左)の発表準備をサポートする小河さん(右)〉

**日本語パートナーの声**  
**法学部 小河 宏輝さん**

サマープログラムでの韓国留学生との交流は、私の大学生活の中で思い出深く貴重な財産となりました。日本語学習のサポートの中で、お互いの生活習慣やトレンド、趣味や好みの話をする事が楽しみになりました。プログラム終了後に全員で写真を撮り合って別れを惜しんだ事がすごく印象深いです。また冬に彼らに会いにソウルに行きます！

**受講者の声** 韓国・慶熙大学 ユンテヒョンさん

3週間の短期留学は本当にあっという間に終わりました。こう言えるのは3週間と言っただけで、毎日限られた時間でしたが、毎日充実していたからです。まず経験豊富で関西特有の明るさを備える各先生方々の明るい授業を受け、まず日本語に対する恐怖や不慣れさを克服することが出来ました。そして、現在大学に通っている

日本語パートナーとの交流で最新の文化や話題について語り合ったり、多様な文化体験(USJ、京都見学、お弁当作り、友禅染め、茶道・能楽体験)に参加できたり、日本の文化に直接触れる大切な経験でした。このプログラムに参加してから、「また日本に行きたい」と言っている友達も多いです。



〈調理実習授業で作ったお弁当〉

## ★日本語教育センターからのお知らせ★

日本語教育センターでは年3回（夏季2回、冬季1回）、協定校を対象に短期プログラムを開催しており、留学生の日本語学習をサポートしてくれる日本語パートナーをプログラムごとに募集しています。募集については掲示板、日本語教育センターHP、またはCIECメルマガにてお知らせしますので、こまめにチェックしてください！  
 問い合わせについては、日本語教育センター事務室まで！！



## 交換留学生紹介！



**ガンダムおたくは悪くないもん！**

韓国・東国大学からの交換留学生 ナム ヒソクさん

今から約7年前の私はおたくと呼ばれる人でした。初めに日本のことが気になった。きっかけもガンダムでした。プラモデルとかDVDなどを買いながら幸せを感じた時もありました。もちろん今はそんなことは卒業しましたが、幼い頃の影が私に残っています。韓国ではおたくはすごくキモイやつらと思われています。もちろん日本でもおたくはあまりよくは見えないんです。でも韓国の認識はそういう感じでしょうか。人間ごみ視線の中でおたくとして暮ら

すのはなかなか大変でした。とにかく何で他ならずガンダムおたくになったのかと聞かされたら、ガンダムには人間と生かす方についての哲学があると思いたいと思います。戦争の中で成長する少年とつらくて苦しい時に挫折しながらもそれを乗り越えてくれる人々の心を教えてくれると思います。やはり商品を買ったりするのはお金がもつたいないですが、ガンダムにはおたくの個性を認める何かがあります。ガンダムだけではない、宇宙世紀のガンダムだけではないです。

この授業では、私たちが日常経験することの多い、結論を出すための「話し合い」を扱っています。「話し合い」は「ディベート」とは異なり、互いに意見を出しつつも、調整したり、新たな視点を取り入れたりして、協力して結論を導き出すためのものです。「日本語Ⅲ」でディベートを経験した学生にとって、この話し合いの形式は、はじめは戸惑いもあったようですが、しかし、何度も話し合いに参加したり、話し合いを観察したりすることを繰り返して、結論を出すための話し合いの進め方、話し合いの中での自分の役割などについて、考えを深めていきました。また、話し合いに使われる日本語の表現についても、自らの日本語使用を振り返り、いろいろな気づきを得たようです。



社会に踏み出す大学生として、互いに協力して問題を解決する「話し合い」の技術の習得は欠かせないものだと思います。この授業を通じて、そのことを伝え、共に学んでいければと思っています。

いつも笑顔で、わきあいあいとしたクラス。  
 柳田先生(前列右から2人目)と履修者の皆さん。



選択日本語科目  
**日本語(聴解・会話)**

担当: 日本語常勤講師  
**柳田直美先生**

柳田直美先生

## ★日本語教育センターからのお知らせ★

「日本語(聴解・会話)」は毎年秋学期に開講している選択科目です。春学期は「日本語(読解・作文)」が開講されます。履修に関するお知らせは掲示板等にて確認、または日本語教育センター事務室まで問い合わせください！